

# 知ってる? 日本の食料事情

～日本の食料自給率、みどりの食料システム戦略  
などについて紹介～

食料自給率は、国内の食料供給に対する食料の国内生産の割合を示す指標です。我が国の食料自給率は、長期的に減少傾向で推移しており、先進国中最低水準となっています。今回の「消費者の部屋」展示では、食料自給率や持続可能な食料システム構築に向けたみどりの食料システム戦略についてパネル展示により、ご紹介します。

あわせて農林水産省職員自らが、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力をYouTubeで発信するプロジェクト「BUZZ MAFF（ばずまふ）」や、食と農の繋がりの深化に着目した新たな国民運動「食から日本を考える。ニッポンフードシフト」、農政局と大学との連携協定、管内府県拠点の業務をご紹介します。

期間：令和4年9月26日（月）～10月5日（水）  
9時00分～17時00分

（土・日を除きます。初日は13時から、最終日は正午までとなります。）

場所：近畿農政局『消費者の部屋』  
京都市上京区西洞院通下長者町下る丁子風呂町  
市バス「堀川下長者町」下車徒歩10分  
地下鉄烏丸線「丸太町駅」下車 徒歩15分

◆お問合せ先◆

近畿農政局消費・安全部消費生活課  
担当者：（消費者の部屋に関しては）  
小槻、高磯  
電話：075-414-9771（直通）

近畿農政局企画調整室  
担当者：（展示内容については）  
瀧脇、徳田  
電話：075-414-9037（直通）



